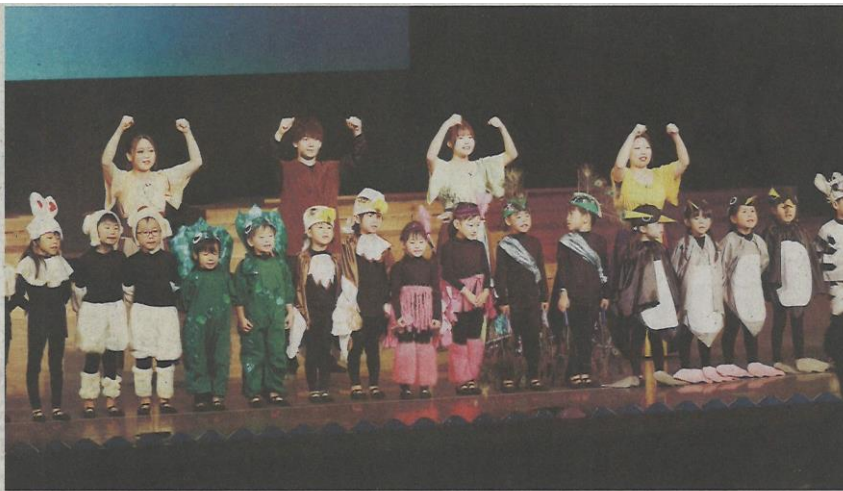


園児ら心一つに熱演

八戸



幼稚園児と短大生が力を合わせてつくり上げた舞台「星の子シアター ノアの方舟」

光星学院系列 短大と幼稚園 舞台「星の子シアター」

と一緒に動物たちの動きについて話し合ったり、歌を歌ったりしながら、本番に向けてイメージを膨らませてきた。

八戸市の学校法人光星学院(法官新一理事長)は8日、SG GROUPホールはちのへ(同市公会堂)で、運営する八戸学院大学短期大学部幼児保育学科の学生と同学院幼稚園、同第二しのめ幼稚園、同聖アンナ幼稚園に通う園児たちによる舞台「星の子シアター ノアの方舟」を開催した。総勢164人が心を一つにして、旧約聖書創世記の天地創造からノアの方舟までを演じ、300人余りの来場者を魅了した。

同シアターは、同法人の短大と三つの系列幼稚園が連携し、2022年から年に1回開催。園児たちは方舟の絵を描いたり、短大生

当日は、短大生がノアとその家族を演じたほか、影絵や嵐の表現、演奏、音響、照明、大道員などを担当。園児はノアたちと一緒に方舟に乗る動物たちになりきり、懸命に物語を表現した。ラストシーンでは出演者全員で「With Christ」を合唱。客席からは大きな拍手が送られた。

出演した同短大1年の佐々木遥香さんは「学生同士はもちろん、子どもたちとも協力し合い、大勢で一つの作品をつくり上げたことに感動した」と、余韻に浸っていた。